

～活動の報告と計画～

予算対策委員会

委員長 中里保育園 青野貴芳

近年、これまでにない大きな制度改革が続
き、本年度も幼児教育・保育の無償化とい
う大きな出来事がありました。

各施設は、こうした一連の動きに対応を迫
られながらも、地域で最も身近な子育て支援
の拠点として、子どもの育ちを保障し、地域
の子育て文化を育んでいくため、日々奮闘し
ていることは、みなさまご承知の通りです。
保育連合会は、各施設が十分な力を発揮で
きるよう、次の八項目を静岡県に対して要望
しています。

- ① 保育標準時間認定児の保育利用時間の長時
間化に対応した職員配置の改善を要望しま
す。
- ② 乳幼児保育事業の充実及び四・五歳児の職
員配置の改善を要望します。
- ③ 調理員の配置数の改善について要望します。
- ④ 保育体制強化事業と保育補助者雇上強化事
業の柔軟な運用を要望します。
- ⑤ 保育士確保及び定着促進のための環境改善
支援策を要望します。
- ⑥ 年度途中入所サポート事業の継続について
要望します。
- ⑦ 東海地震等大震災に対する安心・安全な施
設の充実が図られるよう要望します。
- ⑧ 産休等代替職員雇上事業の補助基準額の増
額について要望します。

加えて、保育三団体の予算対策活動に参画
し、国に対して要望をしています。

海外交流委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

今年度の視察は、令和元年六月三日（月）
～七日（金）三泊五日の日程でフィンランド
に行ってきました。二九名の参加でした。

フィンランドは近年、OECD学力定着度
調査において世界のトップという記録を持っ
ていますが、この評価が目標ではなく「教育
こそが国家の貴重な資産」と謳っており、す
べての子どもが平等に教育を受けることが重
要と、国家教育委員会が義務教育から成人教
育まで一貫してかかわっています。訪ねた保
育施設は、住宅街にあるエスポー市立の保育
園です。（一歳～六歳 定員一〇〇名）子供
の成長発達、興味関心、思いに合わせて小グ
ループでの活動をしています。毎日外で過ご
す時間が大切にされていて、森へのお散歩は
雪の季節にも行われています。滞在中は夜十
時を過ぎても明るく、一日の活動時間が長く、
見学、学び、フィンランド歴史についても知
ることができました。また、公共の場、友
人、家族と過ごすとき、会話を楽しみ、携帯
片手にとり姿を見なかったことも印象的で
した。
次年度は六月初旬ハンガリー視察を計画
中です。

少子化対策委員会

委員長 一番町保育園 海野美代子

保育所・認定こども園利用者以外に、子育
て支援への関心と理解を求める啓発活動を行
った場合の経費（一事業五万円）を助成する
「子育て支援啓発活動事業助成金制度」を実
施しています。これは複数の施設や団体で行
う事業であれば、民間園や公立園の区別なく、
また、保護者会等の団体でも助成対象として
います。各支部三事業（十五万円）の予算を
組んでおりますので、この助成金を活用した
い団体は、各支部事務局にご連絡ください。

啓発品についてご案内、ご協力いただい
ている、「あいあいホットマーク」のクリアフ
ァイル（イエロー）を作成しました。同じく
ピンバッチのご用意もあります。お申込みで
ない方も、施設長研修会などでご協力いただ
けますのでよろしく願います。

研修委員会

委員長 ひくまこども園 山田佳敬

本年度の下期予定研修も民間園長研修会、
育児相談研修会が終了いたしました。皆様
のご協力ありがとうございました。詳しい内容
については、各研修報告のページをご覧
ください。

さて、「新制度施行後五年の見直し」に係

る子ども・子育て会議が国で開催されております。この五年間での社会の変化や経過措置となっている事項など、多くのことが議論されており、各市町においても同様かと思えます。今回の見直しが保育の質の向上につながり、子どもたちの幸福へとつながるよう、我々も目を光らせて行きたいものです。

研修委員会としましては、この制度の転換点としてふさわしい研修と、保育の質の向上につながる研修を予定しております。

今年度内の研修会は次の通りです。

○施設長研修会（グランシップ静岡）
令和二年一月三十日（木）

○新規採用予定職員研修会
令和二年二月中旬から下旬

（会場は各支部の研修会場にて）

キャリアアップ委員会

委員長 聖心保育園 吉川慶子

今年度の「静岡県保育士等キャリアアップ研修」も十月十二日実施予定であった「保健衛生・安全対策」分野の一項目が台風十九号の通過により延期されたものを除き、予定通り開催することができました。延期になった項目は二月に振替開催いたします。

今後の研修開催につきましては、静岡県子ども未来課との調整をはじめ、正副会長会・キャリアアップ委員会で協議を重ねた結果、

次年度は引き続き県保連が静岡県からの受託を受け実施していくことが決まりました。研修会申し込みなどシステム化しましたが、キャリアアップ研修の本来の目的である保育の質向上につながる内容になるよう検討を重ね計画しています。

引き続き会員園の皆様にはご理解とご協力よろしくお願いいたします。

青年部会

部会長 竜南こども園 太田嶋俊彦

昨年は青年部役員の改選の年となり、各支部ともに新たな顔ぶれを迎えての一年となりました。シンポジウム等での役員の活躍を見ていると大変心強く、今回も信頼の厚い方々に恵まれたことを改めて感じました。お力を貸して下さった役員はじめメンバーの方々に感謝申し上げます。青年部としても今年がまた飛躍の年となることを期待しています。

幼児教育・保育の無償化や量的拡大による影響、待機児童の地域差、人材難などまだまだ課題は山積しています。これからも若い力と柔軟性をもって対応し、子どもを中心とした保育を進めていくとともに、互いが自己研鑽し、そして協働できる組織であるよう意識の向上に努めたいと思います。

実績報告

六月十四日 青年部総会及びシンポジウム

「保育の環境を考えよう」
九月四日～六日 全国青年保育者会議
滋賀大会への参加

●今後の予定

二月予定 西部支部研修会
五ヶ園での公開保育を予定しています
三月予定 中部支部研修会
県外園への視察研修等を予定しています
未定 東部支部研修会
講師を招いての講演会を予定しています

広報委員会

委員長 増田俊一

広報委員会は、機関誌「ほいく静岡」を年二回（夏号・冬号）発行しています。今号では、県保連土山雅之会長、静岡県健康福祉部少子化対策担当長田雅孝理事の念頭挨拶のほか民間園長研修会、育児相談研修会の報告、各支部の園を紹介する「ぶらんこ」を掲載しています。その他保育園の社会貢献や児童虐待静岡の集いへの取り組みも紹介しています。

「平成」が終わり「令和」の時代が始まりました。十月からは幼児教育・保育の無償化がスタートしましたが、委員会では当面する課題についても的確な情報をお伝えしたいと考えています。また表紙・裏表紙に掲載する各園の写真も募集していますので、よろしくお願いいたします。